

展示会アンケートより

横浜市史資料室では、今年度も二回の展示会を企画・開催しました。ここでは、会場で実施しましたアンケートの集計結果と内容の報告、また皆さまからお寄せいただいた感想・ご意見などの一部を紹介いたします。

〈平成三三年度〉

第一回展示会 野毛山の「昭和」坂と公園の物語―

協力 横浜開港資料館・横浜都市発展記念館・横浜中央図書館
会期 平成三三年七月二六日(土)～
八月二八日(日)
担当 吉田 律人

〈アンケート集計表〉

・総回答者数 一二一名

年齢	人数	割合
10代	11名	10%
20代	6名	5%
30代	8名	7%
40代	13名	12%
50代	20名	18%
60代	23名	21%
70代	25名	23%
80代以上	5名	4%
合計	111名	100%

*小点数以下は四捨五入。

住所	人数
横浜市内	98名
神奈川県内(横浜を除く)	7名
東京都	1名
その他	3名
合計	109名
資料室を知っていた	58名
初めて知った	50名
合計	108名

・およそ九〇%が市内からの来場でした。
・市史資料室を知っていた方の割合がお

よそ五四%で、過去最高です。

展示を知ったきっかけ(複数回答)	人数	割合
新聞	8名	7%
チラシ	17名	15%
ポスター	33名	28%
中央図書館に 来館・利用中	38名	32%
知人から	5名	4%
当資料室 ホームページ	5名	4%
市史通信	2名	2%
テレビ・学校・ 雑誌	3名	3%
その他	6名	5%
合計	117名	100%

*小点数以下は四捨五入。

〈アンケート集計結果より〉

・幅広い年齢層の方々にご来場いただきました。特に、一〇代の入場率は過去最高となっています。

・横浜市内では、特に近隣の西区・中区、次いで南区の方々に多くご来場いただきました。県内では川崎市、鎌倉市など、また県外、海外からといった遠方からのご来場もありました。
・これまでの活動により、市史資料室の存在が周知されてきているように思われます。

・従来より、知人からという方が少なく、ちらし・ポスターの反響が多くありました。駅や近隣などへの配布が効果的だったように思われます。今後も活用していきます。その他の内訳は、メールニュース(横浜歴史かわら版)などです。今後も幅広く、展示会のご案内を発信します。

〈展示の感想より〉

・「野毛」をテーマにした展示に出会ったのは初めて。「野毛」を通して横浜の歴史が

うかがえ、興味深かった。(六〇代・中区)／私は横浜生まれではないので、昔のことは知りません。しかし、自分の住んでいる所の以前の姿を見るのは、横浜を知るのに、とても意味があると思います。興味深く、見ました。楽しかった。(五〇代・港南区)／自分の知らない、それでいて懐かしい姿、時代の移り変わりがよくわかった。(六〇代・都筑区)／野毛山の歴史が良くわかった。(二〇代・中区)／市民でありながら野毛のことをあまり知りませんでしたので、大変興味深く見せていただきました。(八〇代・保土ヶ谷区)／戦争中・戦後と野毛山が重要な場所となっていたのがわかり、少し驚いています。(五〇代・西区)／すごい変遷を経て今の野毛界限があることを知って、大変感慨深く思いました。地元に住んでいるので、非常に身近に感じられた面白い展示会でした。(三〇代・西区)／面白かったー米兵がこんななにとは、知らなかった。(四〇代・西区)／まるで野毛山の入口に入ってから明治の横濱に戻って、昭和の皆様に会って、平成の横濱を通過して、また野毛山の出口から出たようです。(四〇代・台湾)／昔の野毛と今の野毛が重なり、とても興味深い。(四〇代・旭区)／野毛山の昔から今にかけての移り変わり、興味深く拝見しました。(二〇代・泉区)

〈特に興味を持った資料〉

・野毛山が遊園地であった頃の写真。(四〇代・西区)／野毛山に高射砲陣地があったのは知らなかった。震災・戦災の写真。(七〇代・横須賀市)／亀甲積みの石塀(七

〇代・瀬谷区)／明治の野毛界限の図(五〇代・保土ヶ谷区)／戦後の米軍駐留時代の写真。(七〇代・港北区)／女学校の友人が野毛坂で上から自転車飛ばして遊んだという話を聞き、今回古い賑やかな坂と、舗装された坂を見て楽しみました。(八〇代・保土ヶ谷区)／野毛山のプールの写真。全く知らなかったが随分立派で感心した。(五〇代・金沢区)／占領下時代の風景(六〇代・保土ヶ谷区)／昔の野毛山の地図(二〇代・保土ヶ谷区)／旧図書館の写真(五〇代・大阪市)

・その他、展示会で寄せられた要望など
・占領下の伊勢佐木町の様子、米軍関係の資料等見たい。(六〇代・西区)／横浜の人々の暮らしの変遷など、生活を写している写真が見たい。(四〇代・西区)／市電が走っていた頃の写真と現在の対比など興味あります。(五〇代・金沢区)／横浜の「昭和」食事の物語を楽しみにしています。(四〇代・台湾)／近くに県立施設のある紅葉坂との歴史対比を知りたくなった。(五〇代・都筑区)／職業上医療に関する企画はどうかと思います。(七〇代・西区)

第二回展示会 ヨコハマの台所―横浜中央卸売市場の80年―
協力 横浜中央卸売市場・横浜市中央図書館
会期 平成三四年一月四日(水)正午～ 三月四日(日)
担当 百瀬 敏夫

〈アンケート集計表〉

・総回答者数一七八名

年齢	10代	13名	7%
	20代	11名	6%
	30代	21名	12%
	40代	30名	17%
	50代	42名	23%
	60代	37名	21%
	70代	19名	11%
	80代以上	5名	3%
合計	178名	100%	

*小点数以下は四捨五入。

住所	横浜市内	158名
	神奈川県内(横浜を除く)	12名
	東京都	6名
	その他	2名
	合計	178名
資料室を	知っていた	94名
	今回初めて知った	81名
	合計	175名

・市内からの来場がおよそ八九%でした。
 ・市史資料室を知っていた方は、前回と同様五四%で高い比率となっています。

展示を知ったきっかけ(複数回答)	新聞	17名	8%
	ちらし	20名	9%
	ポスター	34名	16%
	中央図書館に 来館・利用中	83名	38%
	知人から	27名	13%
	当資料室ホーム ページ	13名	6%
	市史通信	9名	4%
	横浜歴史かわら 版	6名	3%
	その他	7名	3%
	合計	216名	100%

*小点数以下は四捨五入。
 〈アンケート集計結果より〉

・横浜市内では、南区からのご来場が一番多く、次いで近隣の西区・中区、また神奈川区・保土ヶ谷区の方々にも多くご来場いただきました。
 ・知人からという方が多く、展示のテ-

マから市場、またその関係者のご紹介で、来場された方が多かったようです。
 ・ホームページ・市史通信の割合が増加しました。今後も随時、新しいお知らせを掲載していきます。

・その他の内訳は、雑誌・広報誌等です。
 〈展示の感想より〉

・生活に密着するテーマで、興味を持って見ることができた。(三〇代・緑区)／市場の歴史が見れて良かった。活気ある市場の様子が見られた。(三〇代・港北区)／現代と昔の市場の移り変わりから、時代そのものが変わっていく様子が見られて大変面白かったです。どの時代でも市場のにぎわいは変わらないと感じました。(二〇代・瀬谷区)／もっと見てみたかった。楽しくて、活気がある感じが出ていた。(四〇代・南区)／ちやぶ台もせりも印象深かった。(二〇代・港南区)／父の仕事場であった、中央市場。昔の様子を知る機会に恵まれ感謝。父にも見せてあげたかった。(四〇代・保土ヶ谷区)／食の文化の歴史がとてもわかりやすく展示されていて、とても良かった。(五〇代・西区)／父の職場であった中央卸売市場。丸中青果の歴史を感慨深く見せて頂きました。他界して二〇年になります。貴が、父と会話できたように思います。貴重な写真及び資料をありがとうございます。(六〇代・港南区)／ララ物資による我が国の食糧供給の状況を改めて知った。(五〇代・西区)／働く人の活気が伝わってくる良

い展示だと思えます。説明を全部は理解できませんでしたが、年表的なものがあれば、より変遷をたどりやすいかと思いました。(五〇代・保土ヶ谷区)
 〈特に興味を持った資料〉

・せりの様子を写した写真。実際の様子がわかって面白かった。(二〇代・神奈川区)／枝肉の洗浄(六〇代・鶴見区)／おさかな号、捕鯨関係。(三〇代・緑区)／市場建設予定地図(三〇代・南区)／食肉の屠場の光景とアメリカ軍用の食材の扱いが興味深かったです。(二〇代・瀬谷区)／昔の野菜の荷姿が今と全く異なっているのが面白かったです。(二〇代・神奈川区)／低温処理棟の存在。(八〇代・中区)／市場開設時に町内会反対運動があったことについて。(五〇代・青葉区)／昭和の高度成長期の市場への渋滞(四〇代・保土ヶ谷区)／米キリスト教団体よりの物資援助(七〇代・栄区)／インパクトがあったのは、「市場発横浜牛」のポスター(三〇代・西区)
 〈その他、展示会で寄せられた要望など〉
 ・横浜の人口の推移、各区の推移、経済活動の全体の動向と各区の推移を見たい。(七〇代・神奈川区)／列車・貨物系の写真を展示してほしいです。(二〇代・川崎市)／横浜の映画館の歴史(五〇代・中区)／米軍が使用していた土地について。(三〇代・中区)／プロが使う市場だけでなく、地域の公設市場のことも取り上げてほしいです。(四〇代・鶴見区)／今後とも、横浜市に関する展示会を開催して下さい。(六〇代・南区)

〈まとめ・今後の展示会に向けて〉

例年、展示会には横浜市内より多くの方にご来場いただいています。今後も横浜の昭和史に焦点をあてた展示を企画・実施するほか、皆さまからいただいた要望を参考としながら、テーマを企画します。

併せて、市史資料室で所蔵する資料の一部を、皆さまに展示会を通して紹介することで、一人でも多くの方に市史資料室の活動を知っていただき、今後の利用・閲覧等につけていきたいと思えます。

幸い、ここ数年で市史資料室をご存知の方も増え、展示会を毎回ご覧いただいている方、市史資料室の閲覧室を繰り返しご利用いただいている方も、年々増加しています。

こうした方々に、今後も継続して展示会や閲覧室をご利用いただくとともに、さらに幅広く、初めてお越しいただいた方にも、横浜の昭和を楽しんでいただけるような展示や活動を行っていききたいと思えます。また、市史通信・紀要などの出版物を定期的に刊行する中で、横浜の昭和史に関する調査・研究の成果も随時発信していきます。今後とも、市史資料室の活動にどうぞご期待ください。

なお、最後になりましたが、毎回展示会にはちらし・ポスターをご覧になって来場される方が多くいらっしゃいます。ちらし・ポスターの掲示・設置にご協力いただいた施設・団体の皆さま、ありがとうございました。

(木許文子)

開架資料紹介

横浜市史資料室刊行物コーナー

横浜市史資料室の開架図書に、市史資料室刊行物コーナーを設けました。同コーナーには、横浜市史資料室が今までに刊行した写真集『昭和の横浜』、報告書・紀要の他、目録などを取り揃えています。

『横浜市史資料室所在目録』(第一集、第二集)では、『横浜市史II』編集時に収集・調査し、市史資料室が引き継いでいる資料の概要や、その詳細な内容をご覧いただけます。点数の多い資料は主に分類別に掲載されており、一点一点に資料名や年代、作成・宛先、数量・形態などの情報が記録されています。このような情報をもとに、目的の資料を探すことができます。なお、所在目録収録の資料には、一部非公開の資料が含まれます。また、「横浜市史資料室資料一覧」ファイルには、公開許可を得た主な資料の一覧を掲載しています。あわせてご利用ください。目録に掲載されている資料の閲覧をご希望の際は、窓口での申請をお願いいたします。

同コーナーには、画像の目録も取り揃えています。『横浜グラフ』画像データ目録では、市史資料室で所蔵する『横浜グラフ』の画像を確認することができます。「一覧で、それぞれの画像につけられたタイトル、月日、撮影場所、参考資料などをご覧いただけます。」

その他、過去に開催した展示会で利用した画像もファイルでご覧いただけます。こちらも同様に写真タイトル、撮影年月日が

一覧で確認できます。なお、画像目録・資料目録は今後も随時同コーナー・及びカウンターに設置・追加します。市史資料室の所蔵する昭和の横浜を記録した資料群を確認し、調査・研究などにぜひご利用ください。

その他同コーナーには「横浜の空襲と戦災」関連資料として、『写真でみる横浜大空襲』、「横浜空襲関連資料所蔵目録」、「横浜の空襲と戦災パネル一覧」も取り揃えています。市史資料室で所蔵する空襲関連資料やパネルは、こちらでご確認いただけます。パネルは貸出可能です。窓口で申請いただき、学校での授業や展示会などでぜひご利用ください。

また、市史資料室の関連出版物として、『市史研究よこはま』創刊号(第一六号、昭和六二年三月/平成二六年三月発行)も全号同コーナーに配架しています。『市史研究よこはま』は、横浜市史編集室(現・横浜市史資料室)が『横浜市史II』編集過程の調査・報告、研究成果の発表を行う場として刊行した小冊子です。

また、『横浜市史II』編集の過程で収集した資料の紹介も掲載されています。各号の論文では、昭和戦前期から戦後にかけての横浜の政治・経済・文化など、様々な分野における分析がなされており、非常に興味深い内容となっています。「回想のヨコハマ」として座談会や聞き取りの内容が紹介され、横浜の昭和史を知る貴重な資料となっています。『横浜市史II』とあわせてご覧いただき、横浜の昭和史研究に、ぜひご利用下さい。

(木許 文子)

『市史資料室たより』

横浜市史資料室では、このたび展示会「ヨコハマの台所—横浜市中央卸売市場の80年—」を開催いたしました。

展示では、中央卸売市場の設置から現在に至るまでの変遷とともに、捕鯨・バナナ・学校給食など「食」の周辺もあわせて紹介しました。

写真は昭和30～40年代を中心に、市場施設、周辺風景、せりの場面などを展示し、当時の活気や賑わいをご覧いただけたかと思えます。アンケートからは「生き生きとした現場の空気が伝わってきた」、「生活に密着したテーマで、興味を持って見ることができた」など多くのご感想をいただきました。ご協力・ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

〈展示会「ヨコハマの台所」〉



【『横浜市史資料室 紀要』第2号の発行】

調査・研究の成果、資料紹介、平成22-23年度の市史資料室の活動等をまとめて報告する紀要を発行します。

〈目次〉〈聞き取り〉元横浜市長飛鳥田一雄への鳴海正泰のインタビュー—飛鳥田市政時代をふりかえって—/横浜市政のなかで飛鳥田市政とはなんだったのか(鳴海正泰氏)/横浜における進駐・占領/史蹟名勝天然記念物保存協会神奈川県支部の史蹟名勝めぐり—資料紹介を中心に—/資料紹介 丹羽勲彦と帝都復興②/横浜市史資料室の活動記録/資料をご寄贈いただいた方々

【報告書『横浜の文化人と戦後復興』の発行】

平成22年度に開催しました展示会「戦後横浜の復興を支えた文化人たち」、及び記念講演会「牧野勲と戦後横浜の文化人たち—牧野勲が語る父 勲—」の内容を記録し、調査の成果をまとめた報告書を発行します。

〈目次〉I 写真で見る横浜の文化行事 日本愛妻会/横浜ペンクラブ/ワーグマン祭/ヨコハマ話の波止場/ネプチューン祭/伊勢ぶらザクの会/牧野勲とホースネック II 資料で見る横浜の文化行事 III 牧野勲と北林透馬 牧野勲が語る父勲/北林透馬の戦前・戦後(丸岡澄夫氏)

IV 横浜の文化人たち

牧野イサオ/北林透馬/篠原あや ほか・資料目録等

◎紀要・報告書(1冊:500円)は、市民情報センター(横浜市役所1階)の他、4月上旬以降は横浜開港資料館、横浜都市発展記念館、横浜市歴史博物館、横浜市中央図書館ふれあいショップ野毛山での販売を予定しています。

◇ 休室日のご案内 ◇

4月16日(月)、5月21日(月)、6月18日(月)～21日(木)、7月17日(火)、8月20日(月)、9月18日(火)

【寄贈資料】

- 1 夏目 弘様 写真3点
- 2 高橋美津枝様 昭和九年三月卒業記念〔アルバム〕 1冊
- 3 田頭喜久彌様 小船幸次郎関係複写資料 92点
- 4 大橋 恵子様 半井清資料(追加)891点
- 5 牧野 忠純様 牧野勲関係資料(追加)14点
- 6 鈴木 精一様 マッチラベル貼付 SCRAP BOOK(昭和初期) 2点
- 7 堀内 利通様 『ミナトの現場ことば』2冊、昭和五〇年の新港埠頭関連写真3枚及び地図